

資料館だより

CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告／平成28年度入館者数
- 3… 雑感／新規寄贈・移管資料
- 4… 開催案内／入館者数の推移／お知らせ

歴代九谷焼作風標本
「五彩古九谷」

TOPICS

平成28年度の学外アウトリーチ展に13,000人を超える入場者

資料館では、従来からアウトリーチ展(出張展)として、金沢城公園鶴の丸休憩所において、写真展を実施していましたが、平成28年度から場所を同公園の河北門内の展示スペースに移し、写真展示及び企画展示を行いました。また、石川県立自然史資料館との連携事業として石川四高記念文化交流館においても共同企画展示を実施しました。

これらは、資料館が有する歴史的資料を学内にとどまらず地域の人々に公開し、金沢大学とその前身校の歴史と資産を広く知っていただくことを目的としたものです。

この結果、河北門での展示には、11日間で10,112人、石川四高記念文化交流館には、26日間で2,905人、合計13,017人の入場者がありました。

資料館では、今後も機会を捉え、地域の文化施設とも連携し、積極的に学外での展示を行っていく予定です。



河北門での展示

平成28年度に690点の資料が寄贈・移管

資料館には、前身校及び金沢大学の関係者等から、毎年多くの資料が寄贈・移管されています。平成28年度には、349件690点の貴重な資料が寄贈又は移管されました。旧制第四高等学校(四高)の学生・教職員の写真及び同校漕艇部遭難事故に係る資料のほか、金沢大学の組織・施設の改廃等に伴う資料の移管など、未来に引き継ぐべき多くの資料をいただきました。これにより、資料館が所蔵するモノ資料は、約75,700点を数えることになりました。

展示活動報告

学生企画展

「ハカリモノ－文系学生が紹介する科学実験機器－」

会期 平成28年12月9日～平成29年3月17日 会場 資料館展示室

今や恒例となった博物館実習を受講する学生が企画する展示会を、「ハカリモノ－文系学生が紹介する科学実験機器－」と題して、約3か月間にわたり開催しました。

学芸員の資格の取得を目指す学生が、これまで講義と実習によって得た知識と経験の集大成として取り組んだ力作です。会場を物理教室に見立てて、掲示パネルを黒板風のデザインにし、展示物の解説をノートのように作成して試験問題としてクイズも用意するなど、学生ならではの工夫がみられました。

また、最近の博物館で実践されている、実際に触って体験できる模型の展示のほか、展示資料の「し景儀」の模型を作成するワークショップの開催や学生サークルとのコラボレーションによる展示テーマに合わせた演奏会の開催など、随所にアイデアが発揮されていました。

この展示期間に、新聞報道をはじめ、テレビ局も2社から取材があったほか、多くの来場者があり、好評のうちに終了しました。



ワークショップを取材するテレビ局



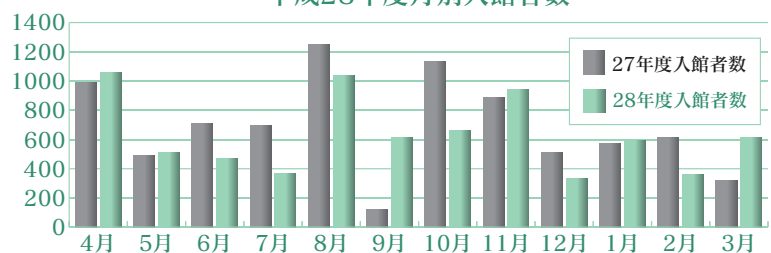
企画・展示を行った学生

平成28年度入館者数

(平成28年4月～平成29年3月)

平成28年度の資料館展示室の入館者数は、過去最高だった平成27年度には及びませんでしたが、過去2番目に多い7,558人を数えました。これに学外施設でのアウトリーチ展(出張展)の来場者数を加えると、20,575人となり、大変多くの方に資料館の資料を御覧いただくことができました。

平成28年度月別入館者数



(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	984	493	703	689	1,246	119	1,176	886	505	571	605	314	8,291
28年度	1,060	510	470	362	1,040	614	663	941	335	592	359	612	7,558

資料の移管を受けて—さようなら 弥生キャンパス—

本年2月、資料館に「周而寮」にあった額『周而不比』が移管されました。「周而寮」は、金沢大学弥生キャンパスにあった独身用職員宿舎で、この額は、1階の食堂に設置されていたものです。

『周而不比』(しゅうしてひせず)とは、「君子は誰とでも誠実公正に付き合うが、特定の仲間だけの私的な結束はしない。小人は私的な結束はするが、広く分け隔てない誠実なつき合いはしない。」という意味です。額には、「巳酉如月」とあり、「善之助」の署名があります。「善之助」は、金沢大学第3代学長だった中川善之助氏であり、「巳酉如月」は、中川学長在任期間中の昭和44年2月ということになります。

「周而寮」があった弥生キャンパスには、「周而寮」のほか、学生寮である「北溟寮」と職員の世帯宿舎であった「弥生町宿舎」がありましたが、今年3月末で閉鎖され、その歴史に幕を閉じました。

弥生キャンパスは、かつて石川県高等師範学校の男子校があった場所です。大正2年(1913年)に広坂校地から弥生校地に移転し、翌年には、正式に男子校と女子校が分かれて設置されることとなりました。(女子校は広坂校地に残りました。)当時の弥生の地名は「石川郡野村」で、師範学校が取得した土地には、以前は貧民救済事業として造成された茶畑があり、それ以前は練兵場であったという記録が残っています。

石川県高等師範学校の寄宿舎として建築された「弥生寮」を金沢大学は引き継ぎ、昭和26年9月に旧金沢城内キャンパスにあった「憬真寮」を合併して、「北溟寮」と改称されました。弥生の地で66年の歴史を刻んできた「北溟寮」は、「周而寮」や「弥生町宿舎」と共に閉鎖となりましたが、4月からは角間キャンパスに学生留学生宿舎「北溟」としてその名を残し、新たな歩みが始まっています。

資料館 藤原 真理

平成28年12月～平成29年3月
寄贈・移管資料

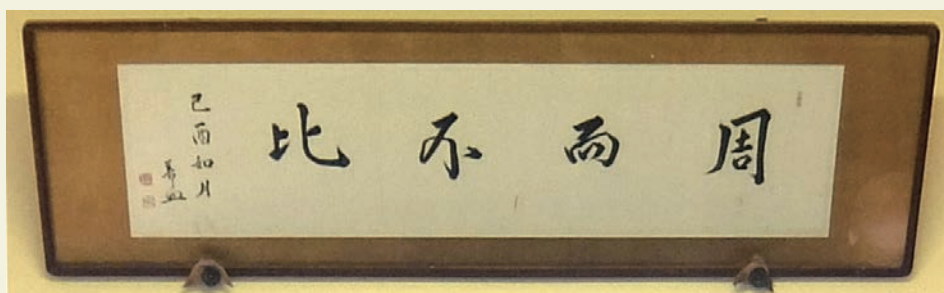
今期も貴重な資料を寄贈・移管していただきました。当館にて大切に保管し、活用させていただきます。改めて感謝申し上げます。

寄贈

- | | | |
|--------------------------|------|--------|
| ・第四高等学校関係資料一式 | 373点 | 正橋 剛二氏 |
| ・旧制四高漕艇部琵琶湖遭難事故に係る資料等 一式 | 8点 | 坂本 清氏 |
| ・タイガー手回し計算機(機械式計算機) | 2点 | 瀧本 昭氏 |

移管

- | | | |
|-------------------|-----|--------------|
| ・学校教育学類書道教室旧蔵資料一式 | 87点 | 人文社会学域学校教育学類 |
| ・周而寮「額」(『周而不比』) | 1点 | 施設部施設企画課 |



開催案内

企画展

「金大資料館コレクション展2017：教材の博物館」

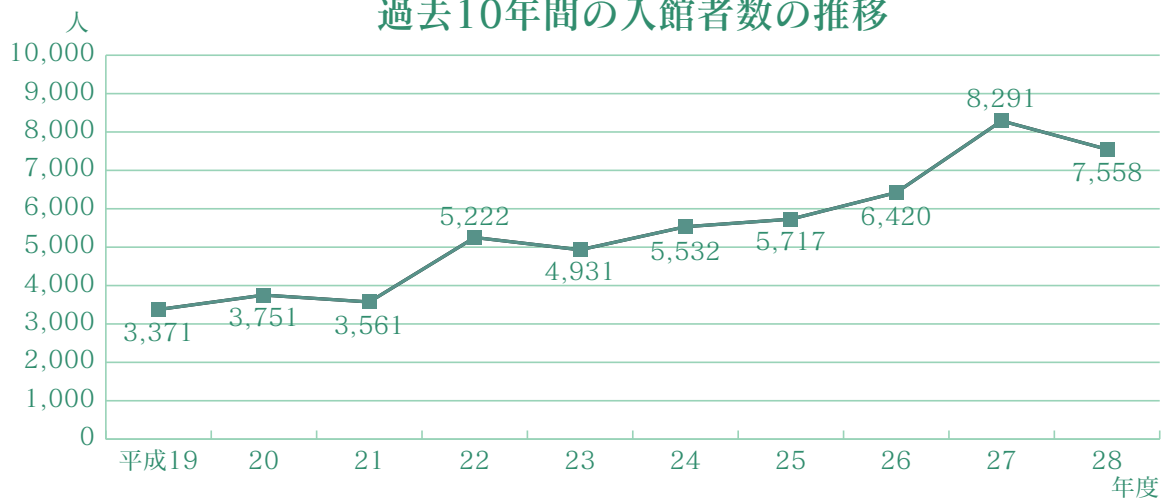
会期 平成29年4月5日～平成29年7月5日 会場 資料館展示室

春季企画展では、主に新入生に向けて、資料館のコレクション(館蔵資料)を紹介しています。

「金大資料館コレクション展」と題した展覧会は今年で3年目を迎えます。今回は、金沢大学の前身校である第四高等学校(以下、四高)、石川県師範学校、旧制金沢医科大学等で使用されていた教材にスポットをあて、「学習教材」の「博物館」のように構成しました。展示資料の中でも、四高の教材であった「法隆寺百万塔模型」は百万塔陀羅尼の精巧な実物大レプリカで、資料館としては初公開です。また、平成28年度に石川県文化財保存修復工房にて修復を行った明治時代の解剖学教材『成医学校蔵版 人体局所解剖図』(リトグラフ版画)も展示しています。ぜひ資料館展示室へご来場ください。



過去10年間の入館者数の推移



お知らせ

「金沢大学資料館紀要」第12号を発行しました。本号では、全国的に見ても本格的な展示を実施している学生企画展に関する学生等による報告及び平成27年度の資料館における活動に関する報告を掲載しています。資料館Webサイトからご覧ください。

編集後記

新任の松永です。学部・修士ともに金沢大学で考古学を学び、修了から13年半経って母校に戻ってきました。資料館業務は初めてですが、これまで培った知識と経験を生かして自分なりに資料館展示に関わりたいと思っています。よろしくお願いいたします。(松永篤知)

金沢大学資料館だより

第53号 平成29年5月19日発行



発行/編集 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<http://museum.kanazawa-u.ac.jp>